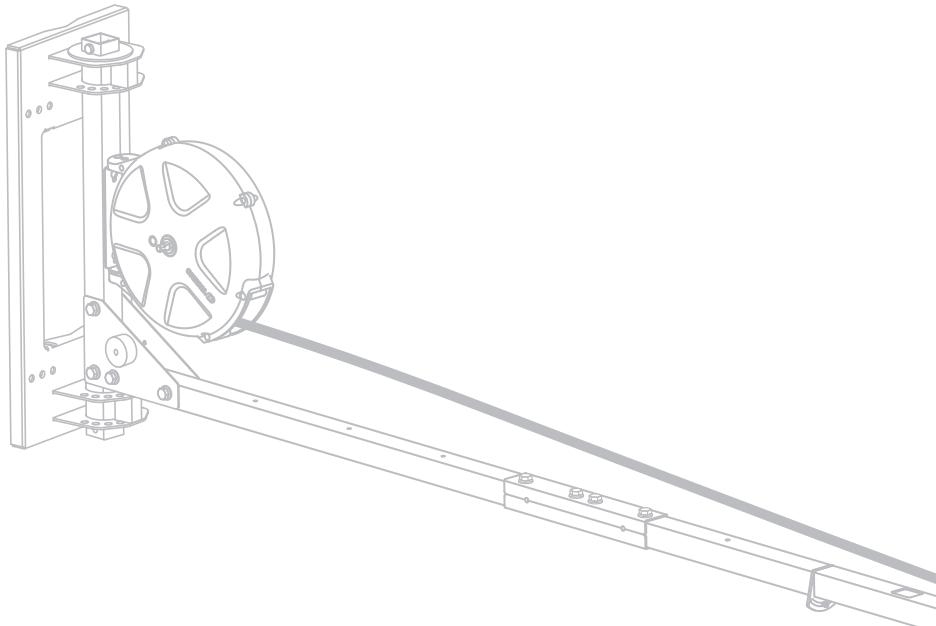


スイングアーム式 散水システム

取扱説明書

型式

SAR-2AW (屋外用)



はじめに

安全上のご注意

P.2

各部の名称と役割

P.4

使用する

設置方法

P.5

ご使用方法

P.9

メンテナンス

P.11

困った時は

故障と処置

P.13

仕様・外観図

P.14

保証とアフターサービス

P.15

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は人とその周囲の危害・損害を防ぐため、ご使用にあたっての注意事項や基本的な使い方を説明しています。

- ・本書の内容を最後までよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ご使用前に P.2 「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・この取扱説明書はいつでも使用できるよう大切に保管してください。

安全上のご注意

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています



この表示の注意事項を守らずに誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うおそれがあります。



この表示の注意事項を守らずに誤った取り扱いをすると、軽傷を負ったり周辺の物品に損害を与えたことがあります。

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



最高使用
圧力を守る

行為を指示する記号



指示を守る



保護メガネ
着用

安全上のご注意

はじめに

使用する

困つときは

本製品を正しく安全にご使用いただくために

●安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

●故障したら使わない

すぐに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に修理をご依頼ください。

●万一異常が起きたら

例)

- ・煙が出たとき
- ・異常な音・においがしたとき
- ・内部に異物が入ったとき
- ・製品を落とすなどして、製品や付属品が破損したとき

①供給を切る

バルブを閉じたり、電源を切ったりするなど、供給を停止させる

②使用を中止

取り付いている工具や機器を安全に外す

③修理・点検を依頼

お買い上げの販売代理店に依頼する

異常が解決されるまでむやみにリールを触らないでください。

本書の内容を最後までよく読み、本製品を正しく安全にご使用ください。
また、読み終わった後はいつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。

⚠ 警告



子供や幼児の届かない場所に設置する

事故やけがの原因となります。



水リールを水供給以外の目的に使用しない

目的以外の使用は、本体の破損や故障の原因となり、けがや施設・設備等の損傷をまねくおそれがあります。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取付場所の強度も十分にお確かめください。



最高使用圧力を超えて使用しない

リール本体やホース、接続された機器の破裂や故障、事故の原因となります。製品の仕様（参照：P.14「仕様」）をご確認のうえ、ご使用ください。



本製品にオイルなどの異物を入れたり、付着させたりしない

ドラム内部に異物が入ったり、外装に塗装ミストなどの異物が付着したりすると故障の原因となることがあります。

万一、異物が入った場合は直ちに接続された機器を外し、お買い上げの販売代理店に点検・修理をご依頼ください。



ホースを傷つけない

ホースを傷つけると、けがや破裂の原因となることがあります。

- ・ホースを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ホースを無理に折り曲げない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ホースを接続した機器から抜くときは、安全に注意してください。

万一、ホースが傷んだ場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に交換をご依頼ください。



水中で使用しない

本製品は水に強い（耐水）設計になっていますが、水中での使用には対応していません。



油・薬品などは使用しない

ホースやリール内部が傷み、故障や異常動作の原因となることがあります。水以外のものを圧送しないでください。



油煙・ほこりの多い場所や高温になる場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や故障、破損の原因となることがあります。



熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。また、リール本体やホースの耐久性が低下するおそれがあります。



修理技術者以外による分解・修理・改造はしない

本体をむやみに開けたり改造したりすると、故障や異常動作の原因となることがあります。

また、本製品には強力なゼンマイが内蔵されているため、部品等が勢いよく飛散し、けがをするおそれがあります。

危険ですので、点検・修理はお買い上げの販売代理店にご依頼ください。



飲料水用として使用しない

リール内を通った水は飲まないでください。健康被害のおそれがあります。



ホースを有機溶剤で拭き取らない

ホース表面状態の変化により、乱巻き[※]や劣化、ひび割れの原因となることがあります。



警告ラベルは剥がさず、大切に使用する

剥がれや汚損、劣化された場合はお買い上げの販売代理店からご購入のうえ、正しく貼付してください。

[※]乱巻き：本製品のカバー内でホースが絡まり、引き出し操作や巻き戻し操作に支障が出る状態です。

各部の名称と役割

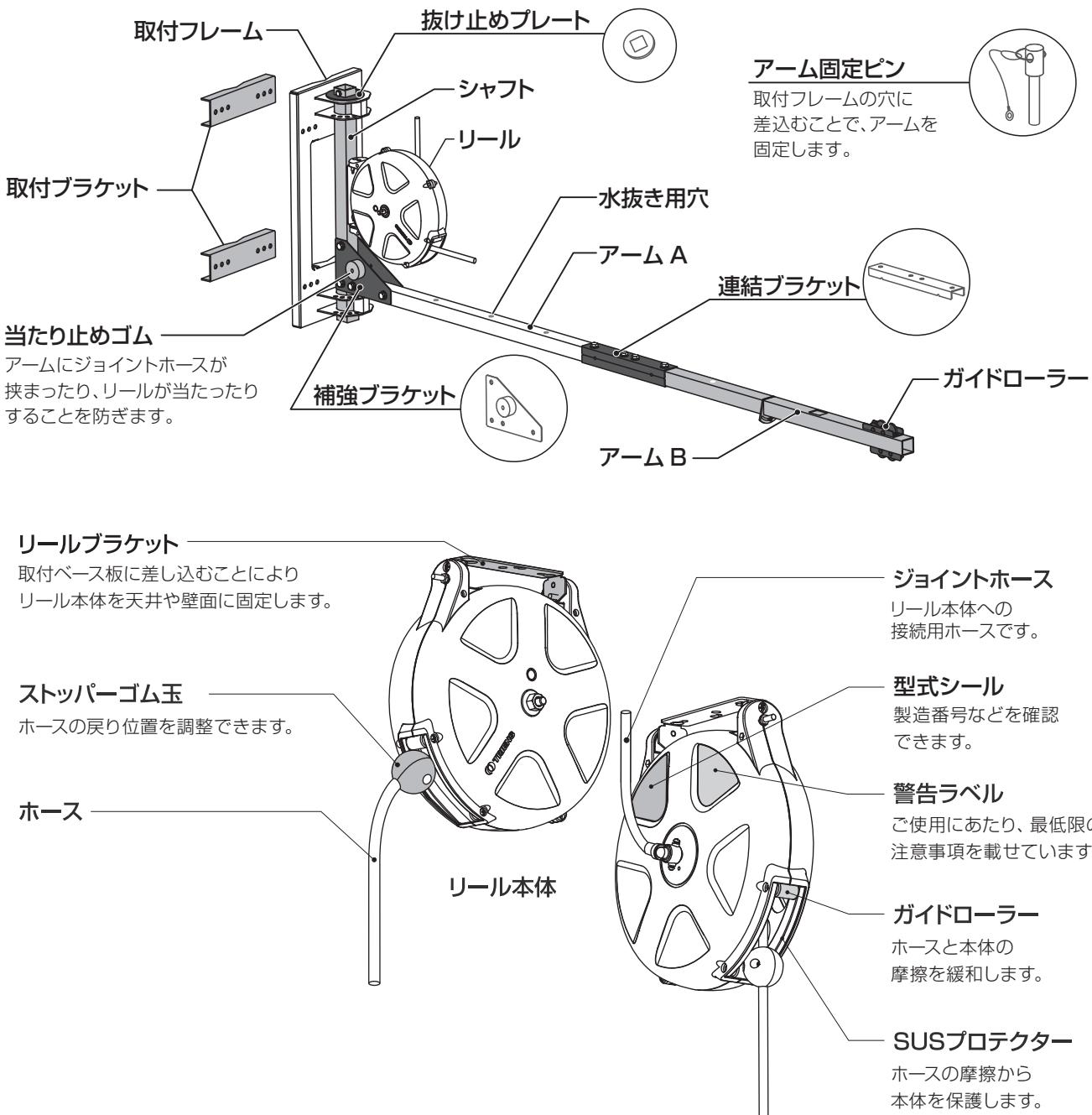
箱の中に同梱品（本体・付属品）がすべて揃っているか確認してください。

各部の名称と役割

はじめに

使用する

困ったときは



●その他付属品

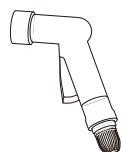
箱の中に同梱品（本体・付属品）がすべて揃っているか確認してください。
付属品に不備があった場合はただちにお買い上げの販売代理店にご連絡ください。



取扱説明書
(本書)
1冊



水用コネクタ
1個



散水ノズル
(コネクタ付き)
1個

ビス袋 A

全ネジ M10×270 4本
スプリングワッシャー M10 8個
平ワッシャー M10 8個
六角ナット M10 12個

ビス袋 B

六角ボルト M10×60 8本
スプリングワッシャー M10 8個
平ワッシャー M10 8個
六角ナット M10 8個

ビス袋 C

六角ボルト M6×60 2本
六角ナット M6 2個
ナベビス M5×8 1本

設置方法

この項はリールの取り付けおよび、供給元への接続を行う販売代理店または施工業者の方を対象にしています。

⚠ 警告



組立・設置の際、作業者の安全対策を徹底する

指示を守る

取り付けが高所作業になる場合はハシゴや脚立を使用せず、安全に作業できる高所作業リフトや足場を設置のうえ、必ず安全ヘルメット・手袋を着用し、落下防止の安全帯を使用してください。

また、万一の製品および作業工具の落下に備え、作業中は取付場所の真下への立ち入りを禁止してください。



本体を接続する前に必ず配管内の清掃を行う

指示を守る

ホース等の損傷・配管内のゴミによる、けが等のおそれがあります。



不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取付場所の強度も十分にお確かめください。



組立・設置は必ず2人以上で行う

事故やけがの原因となります。

禁止



油煙・ほこりの多い場所や高温になる場所には設置しない

禁止

上記のような場所に設置すると、火災や故障、破損の原因となることがあります。



設置前にアームの可動範囲に障壁がないことを確認する

指示を守る

製品の変形・破損・落下により、周辺物に危害を与えることがあります。



設置（据付）および移設について

指示を守る

設置場所は十分な強度を確保のうえ、落下・揺れなどがないよう考慮し、設置場所付近まで水配管等の施工を行ってください。

施工は、ジョイントホースの長さ（参照：P.14「仕様」）をご確認いただいたうえで、ホースに余裕ができる位置にお願いいたします。また、接続部分にはバルブ等、供給を止めることができる仕様をお願いいたします。



本書の内容に従い、正しく組立・設置する

指示を守る

ジョイントホースは、水配管等に確実に締め込んでください。接続が不十分だと水漏れやホース抜けなどにより、接続機器の異常動作の原因となります。



最高使用圧力を超えて使用しない

最高使用圧力を守る

リール本体やホース、接続された機器の破裂や故障、事故の原因となります。製品の仕様（参照：P.14「仕様」）をご確認のうえ、ご使用ください。



熱器具近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

また、リール本体やホースの耐久性が低下するおそれがあります。



必ずメンテナンスを行う

指示を守る

日常のお手入れや定期点検を行ってください。

設置方法

はじめに

使用する

困ったときは

設置の前に

●設置に必要な道具

- ・水準器
- ・スパナ（10・17mm 各2本）
- ・プラスドライバー（No.2）
- ・潤滑グリス

●移設・交換作業の場合

- ・安全のため一次側の接続バルブを閉じ、リール内の残圧を抜いてから作業をはじめてください。けがや漏洩事故のおそれがあります。

●準備

1. ジョイントホース接続側用のニップルを用意する
2. 配管の清掃をする

※ジョイントホースを延長する場合は、流量確保のため内径12mm以上のホースを推奨いたします。

設置方法

設置の手順（アーム部）



組立方法を動画でご確認いただけます

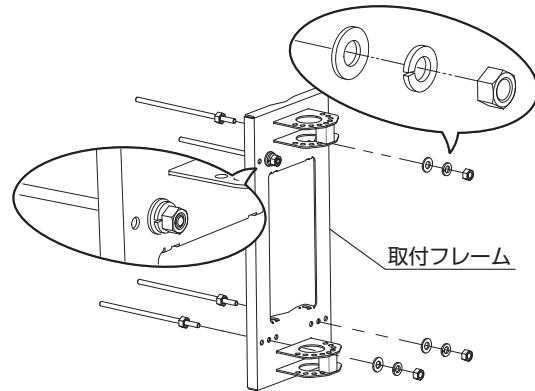
左記 QR コードよりアクセスし、
本書と合わせて動画をご覧ください。

1. 取付フレームに全ねじを取り付ける

ビス袋 A のナットを取り付けた全ねじを取り付けるフレームに差し込み、全ねじを各ワッシャー・ナットで固定してください。

- 平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットの順で取り付ける
- 表側のナットからねじが飛び出していないことを確認する

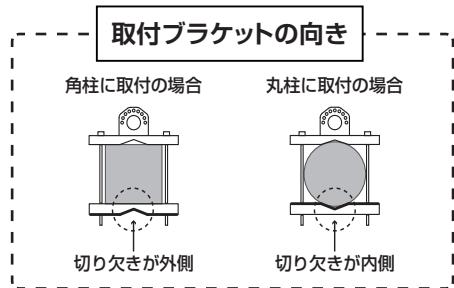
ボルト・ナットは長年使用しますとゆるみが起こるおそれがあります。
定期点検を実施し、締め付けを確認してください。



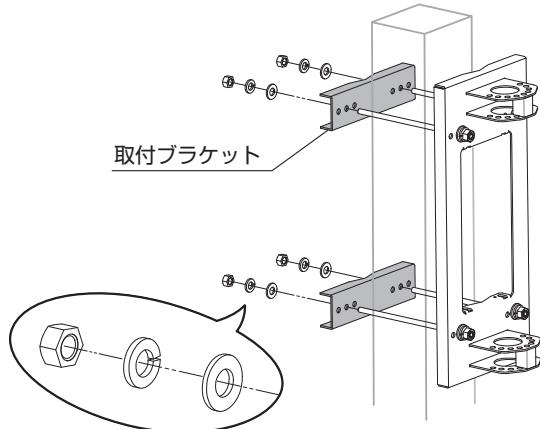
- 全ねじ M10×270 (4 個)
- 平ワッシャー M10 (4 個)
- スプリングワッシャー M10 (4 個)
- 六角ナット M10 (8 個)

2. 取付フレーム・取付ブラケットを取り付ける

取付フレームと取付ブラケットで設置する柱をはさみ、
水準器で水平・垂直を合わせてからビス袋 A の
ボルト・ナット類で固定してください。



- 取付ブラケットの向きが合っているか確認する
- 平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットの順で取り付ける
- 取付フレーム・取付ブラケットが柱に対して上下左右が
均等で垂直になっていることを確認する
- 取付フレームにガタつき・ぐらつきが起こらないよう、
ボルト・ナットを均等に締め込む



- 平ワッシャー M10 (4 個)
- スプリングワッシャー M10 (4 個)
- 六角ナット M10 (4 個)

本製品の設置条件は、幅 100 ~ 200mm までの丸柱・角柱です。
耐荷重 60kg 以上の強度がある事を確認の上、設置してください。

取付フレーム・取付ブラケットの取付が不十分だとアームの動きが
悪くなるなど、不具合の原因となります。

取り付ける前に本体の仕様と損傷の有無、付属品の欠品の有無を確認してください。

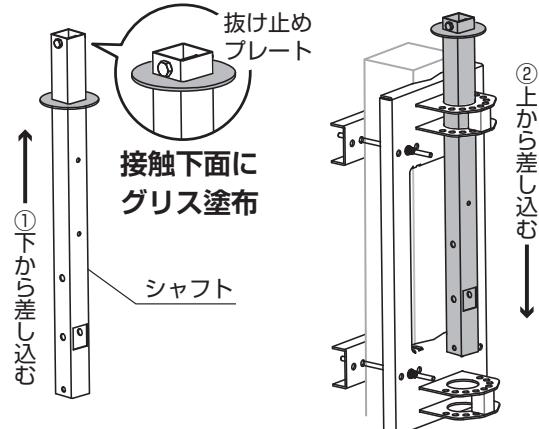
記載された取付場所および接続方法は一例です

3. シャフトを取り付ける

※抜け止めプレートの接触下面に必ずグリスを塗ってください※

取付フレームと接触する面に潤滑グリスを塗った抜け止めプレートをシャフトに差し込み、取付フレームの穴に通してください。

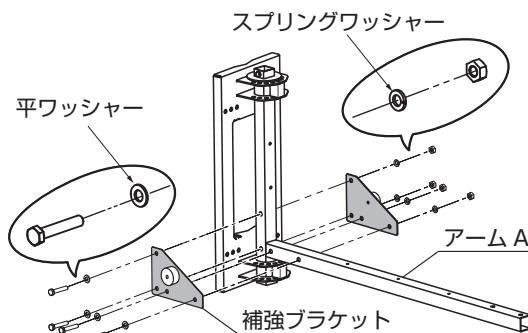
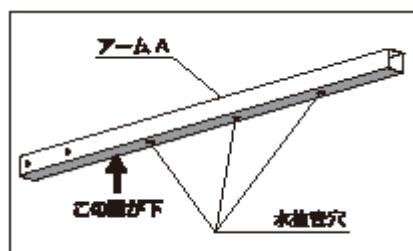
- シャフトのボルトが緩んでいないか確認する
- 抜け止めプレートを差し込む向きがあつてあるか確認する



4. アームAを取り付ける

補強ブラケットを使い、アームAとシャフトをビス袋Bのボルト・ナット類で固定してください。

- アームAの取付方向に注意する
(穴（水抜き穴）がある面が下になるように取り付ける)



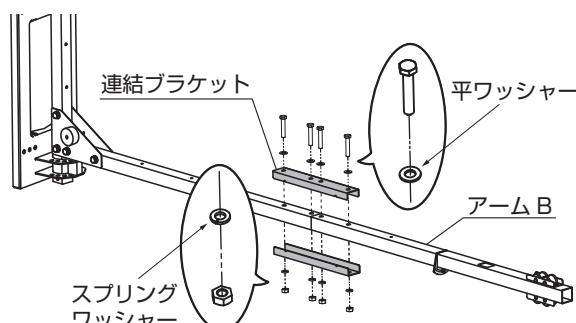
- ・六角ボルト M10×70 (4個)
- ・平ワッシャー M10 (4個)
- ・スプリングワッシャー M10 (4個)
- ・六角ナット M10 (4個)

- ボルト側に平ワッシャー、ナット側にスプリングワッシャーを取り付ける

5. アームBを取り付ける

連結ブラケットを使い、アームBとアームAをビス袋Bのボルト・ナット類で固定してください。

- ボルト側に平ワッシャー、ナット側にスプリングワッシャーを取り付ける
- アームの動きに問題がないか確認する



- ・六角ボルト M10×70 (4個)
- ・平ワッシャー M10 (4個)
- ・スプリングワッシャー M10 (4個)
- ・六角ナット M10 (4個)

設置方法

はじめに

使用する

困ったときは

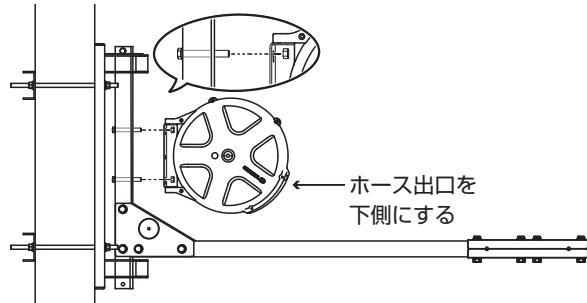
設置方法

設置の手順（リール）

1. リールを固定する

リールのホース出口を下向きにして、ビス袋 C のボルト・ナットでシャフトに固定してください。

- ・六角ボルト M6×55
- ・六角ナット M6



2. ホースをガイドローラーに通す

ホースをガイドローラーに余裕をもって届く長さまで引き出し、リールをロックさせてからストッパーゴム玉を付け替えてください。

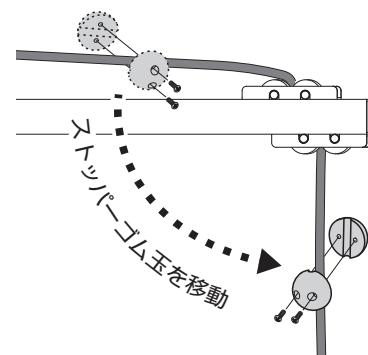
- 作業中にリールのロックが解除されないよう注意する



ストッパーゴム玉の交換中にホースを引っ張らない

ストッパーゴム玉がついていない状態でロックが解除されると、ゼンマイに負荷がかかることによるリールの故障・破損の原因や、ホースがカバー内に入り、使用できなくなります。

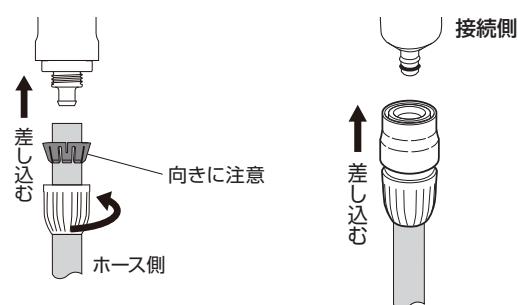
※ロックについては「P.9 操作方法」をご覧ください。



3. コネクタ・ノズルを取り付け、ストッパーゴム玉の位置を調整する

付属のコネクタ・ノズルを右図を参考にそれぞれ取り付け、ストッパーゴム玉をお好みの位置に調整してください。

- 接続前に水配管内の清掃をする
- 接続前に元栓が締まっているか確認する



4. ジョイントホースを接続し、動作確認をする

長さにゆとりをもって配管と接続し、水栓を開けます。

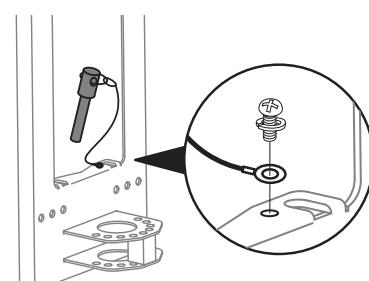
その後ゆっくりと全引き出し / 全戻しを行い、動作に問題がないか確認してください。

- 接続前に水配管内の清掃と、元栓が締まっているか確認する
- 接続後、水漏れがないか確認する
- アームの動作不良やホースが挟まれる箇所がないか確認する

ジョイントホースを延長する場合は、流量確保のため内径 12mm 以上のホースを推奨いたします。

●アーム固定ピンについて

- ・ビス袋 C のナベビス M5×8 で取付フレームの穴に取り付けてください。



ご使用方法

⚠ 警告



水リールを水供給以外の目的に使用しない

目的以外の使用は、本体の破損や故障の原因となり、けがや施設・設備等の損傷をまねくおそれがあります。



最高使用圧力を超えて使用しない

最高使用圧力を守る

リール本体やホース、接続された機器の破裂や故障、事故の原因となります。製品の仕様（参照：P.14「仕様」）をご確認のうえ、ご使用ください。



ホース出口の中に手をいれない

禁止

大けがをするおそれがあります。



凍結に注意する

凍結のおそれがある場合には、まず水の供給を止めてジョイントホースの接続を取り外してください。

次にホースを最後まで引き出し、ホース先端の接続機器を外してエア等を吹き込み、水抜きをしてください。



本体には絶対ぶらさがらない

リールの落下、本体の破損や故障の原因となり、けがや設備等の破損をまねくおそれがあります。



本体に負荷のかかる使用は避ける

本体やホースの破損、故障の原因となります。

使用方法などでご不明な点のある場合は、使用を中止してお買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

また、リール本体やホースに異常が見られる場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に点検・修理をご依頼ください。

⚠ 注意

リール本体やホースの破損・落下・故障のおそれがあります。下記のような使用は絶対に避けてください。

- ・ホースを急激に曲げない。
- ・ホースを急激に引っ張らない。
- ・ホースを高温・高熱の物に近づけない。
- ・ホースを工具や設備等で挟まない。
- ・ホースを車両や重量物の下敷きにしない。
- ・ホースおよびリール本体にオイル、床洗浄剤、塗装ミストなどを付着させない。
- ・リール本体に衝撃を与えない。

引き出し操作時の注意

- ・ホースを引き出す際には、必ずリール正面から静かに引き出してください。
リール横方向に引くと本体に負荷がかかり、ホースやリール取付部が破損し落下するおそれがあります。
- ・引き出し限界線以上はホースを引き出さないでください。※強く引かなくてもロックは外れます。
- ・最後まで急激な勢いで引き出すと、内部ドラムが必要以上に回転してロックがかかり、巻き戻しができなくなることがあります。
- ・ホース金具や、先端に取り付けた器具を引っ張らないでください。ホースの折れ曲がりや、器具破損の原因にもなります。
また、折り曲げた状態での引き出し操作は行わないでください。
- ・使用中、ホースによるつまずき、からまりに注意してください。

巻き戻し操作時の注意

- ・急激にホースを巻き戻すと人や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。
- ・急激にホースを巻き戻すと、乱巻き*の原因となります。
- ・ホースを巻き戻す際には、必ずリール正面から静かに巻き戻してください。
リール横方向から戻すとホース先端が人や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。

*乱巻き：本製品のカバー内でホースが絡まり、引き出し操作や巻き戻し操作に支障が出る状態です。

ご使用方法

はじめに

使用する

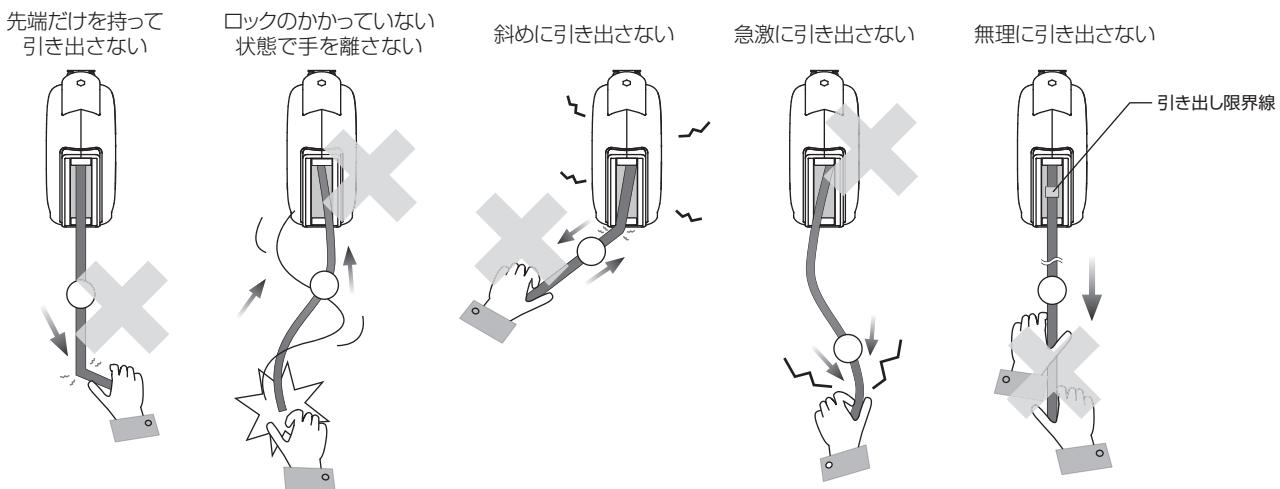
困ったときは

ご使用方法

操作方法

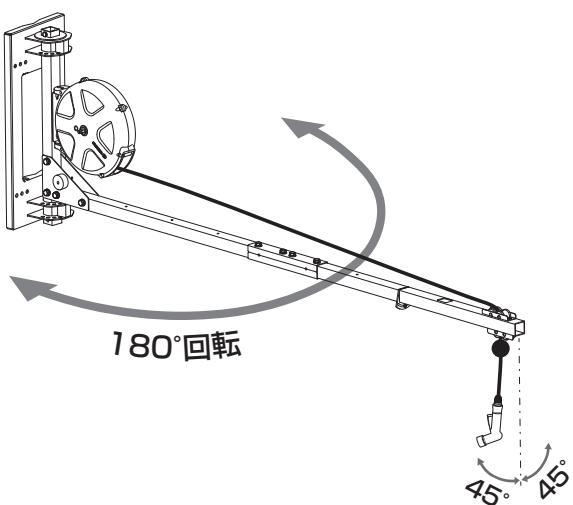
●ホースの引き出し・巻き戻し

1. ホース出口に対し正面に立ち、必要な長さまでホースをゆっくりと引き出してください。
カチッと音のするところでロックがかかります。
2. ロックがかかったことを確認してから手を離し、使用してください。
万一ロックがかからない場合には、さらに6~40cmほどホースをゆっくりと引き出してください。
3. 再び6~40cmほどホースをゆっくりと引き出すとロックが外れます。
ホースを持ち、送り込むようにゆっくり巻き戻してください。



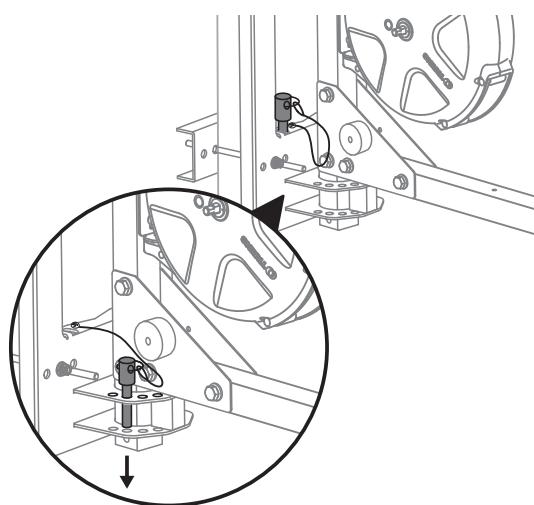
●アームの回転

- アーム全体は最大180°。
先端は左右45°ずつ回転します。



●アームの固定

- アーム固定ピンを取付フレームの穴に差し込むことでアームの回転角度を制限できます。
強風時や設置状況により、アームがぶつかってしまう場合などにご利用ください。



メンテナンス

警告



必ずメンテナンスを行う

日常のお手入れや定期点検を行ってください。

指示を守る



始業点検および終業点検を説明書の本文に従って必ず実施する

指示を守る 特にホースの損傷・キズ・変形・摩耗および汚れがないことを確認してください。

メンテナンス方法などでご不明な点のある場合は、お買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

また、リール本体やホースに異常が見られる場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に点検・修理をご依頼ください。

始業点検

作業をはじめる前に

点検箇所	点検方法	内容
ホース	聴取	水漏れはないか
	目視	変形・破損・摩耗はないか
	目視／掃除	汚れ（油・泥）はないか
	操作／目視	引き出し・巻き取りはスムーズか
ノズル	聴取	水漏れはないか
	目視	変形・破損・摩耗はないか
	目視／掃除	汚れ（油・泥）はないか
アーム	操作／聴取	動きはスムーズで異音はないか

- ホース清掃の際にはertzクリーナー等、脱脂作用のある溶剤またはスプレーなどで拭き取らないでください。乱巻きや劣化、ひび割れの原因となることがあります。万一、脱脂作用のある溶剤またはスプレーなどで拭き取ってしまった場合は、シリコン系スプレー等の潤滑剤をホースに薄く塗布してください。
- ホースが引き出しにくい・巻き戻りにくい場合は、シリコン系スプレー等の潤滑剤をホースに薄く塗布していただくとスムーズになることがあります。

終業点検

- 供給側配管のバルブまたは元栓を閉じ、リール内の残圧を全て無くして終業してください。加圧のし過ぎはオーリングやホースに負荷がかかり、劣化を早める原因となります。
- ホースやコネクタ・ノズル等に付着した汚れ（水・ゴミ・油など）をやわらかい布できれいに水拭きしてください。この時何か異常が見られる場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店にご相談ください。



- 下記のような症状が出た場合は必ず交換してください。

ホースにコブ状の膨れ、硬化やひび割れ、表皮の剥がれが見られる場合

破裂の危険性があります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に交換をご依頼ください。

メンテナンス

はじめに

使用する

困ったときは

メンテナンス

定期点検

専門家による定期点検の実施

定期点検は、使用頻度にかかわらず 6 ヶ月毎に実施してください。専門家による点検の制度がございますので詳しくはお買い上げの販売代理店にご相談ください。

チェック 点検項目

- リール取付部のボルト・ナットにゆるみがないか
- リール本体に変形や著しい摩耗などがないか
- アーム部の各ボルト・ナットにゆるみはないか
- アーム・ガイドローラーの異音・ガタつきはないか
- アーム・ガイドローラーの動きに問題はないか
- 引き出し限界線までホースの引き出し・巻き戻しができるか
- 引き渡し限界線までホースをすべて引き出し、問題なくロックがかかるか
- ノズルのゆるみ・抜けかかりはないか

メンテナンス

はじめに

使用する

困ったときは

消耗部品について

長期間使用されると消耗部品の経年劣化や使用環境による磨耗により、ホースの破裂やホース抜けの原因となることがあります。下記交換時期を目安とし、定期的な修理・交換の実施をお願いいたします。

ジョイントホースや金具を含むホース類

交換目安 3 年

Oリング・ブレーキゴムなどのゴムパッキン類

交換目安 2 年

修理・交換についてはお買い上げの販売代理店にご相談ください。

※上記年数は目安であり保証値ではありません。

異常が見られない場合でも定期的な修理・交換の実施をお願いいたします。

故障と処置

不具合が見られる場合はもう一度本書をよく読んでご確認ください。

症状	原因	処置
水が出ない	バルブが閉じている	バルブを開ける
	凍結している	凍結を溶かす
水圧が低い	ストップバルブが閉じている	ストップバルブを開ける
	供給される圧力が低い	圧力を指定圧力にする
水漏れしている	ゴミつまり	接続金具部を調べる
	接続カプラの不良	カプラの交換 販売代理店にご相談ください
ガイドローラーから異音がする	ホースの破損	ホースの交換 販売代理店にご相談ください
	内部Oリングの摩耗	Oリングの交換 販売代理店にご相談ください
アームがスムースに動かない	接続カプラの不良	カプラの交換 販売代理店にご相談ください
	ガイドローラーの油切れ・汚れ	古い油・汚れを取り除き、潤滑剤を塗布する
ホースが巻き戻らない	ガイドローラーの破損	販売代理店にご相談ください
	アームの破損	販売代理店にご相談ください
ホースが出てこない	ホースの乱巻き	ホースを引き出し、ゆっくりと手を添えて巻き戻す
	ガイドローラーの油切れ・汚れ	古い油・汚れを取り除き、潤滑剤を塗布する
ホースが止まらない	ホースの汚れ	ホースにシリコン系潤滑剤を薄く塗布する
	ホースの引き出し過ぎによるラチエットの引っ掛けり	販売代理店にご相談ください
ホースが止まらない	ガイドローラーの破損	販売代理店にご相談ください
	ゼンマイの破損	販売代理店にご相談ください
ホースが止まらない	ラチエットの破損・引っ掛けり	販売代理店にご相談ください
ホースが止まらない	ラチエットの破損	販売代理店にご相談ください

故障と処置

はじめに

使用する

困ったときは

改善がみられない場合はお買い上げの販売代理店にご相談ください。

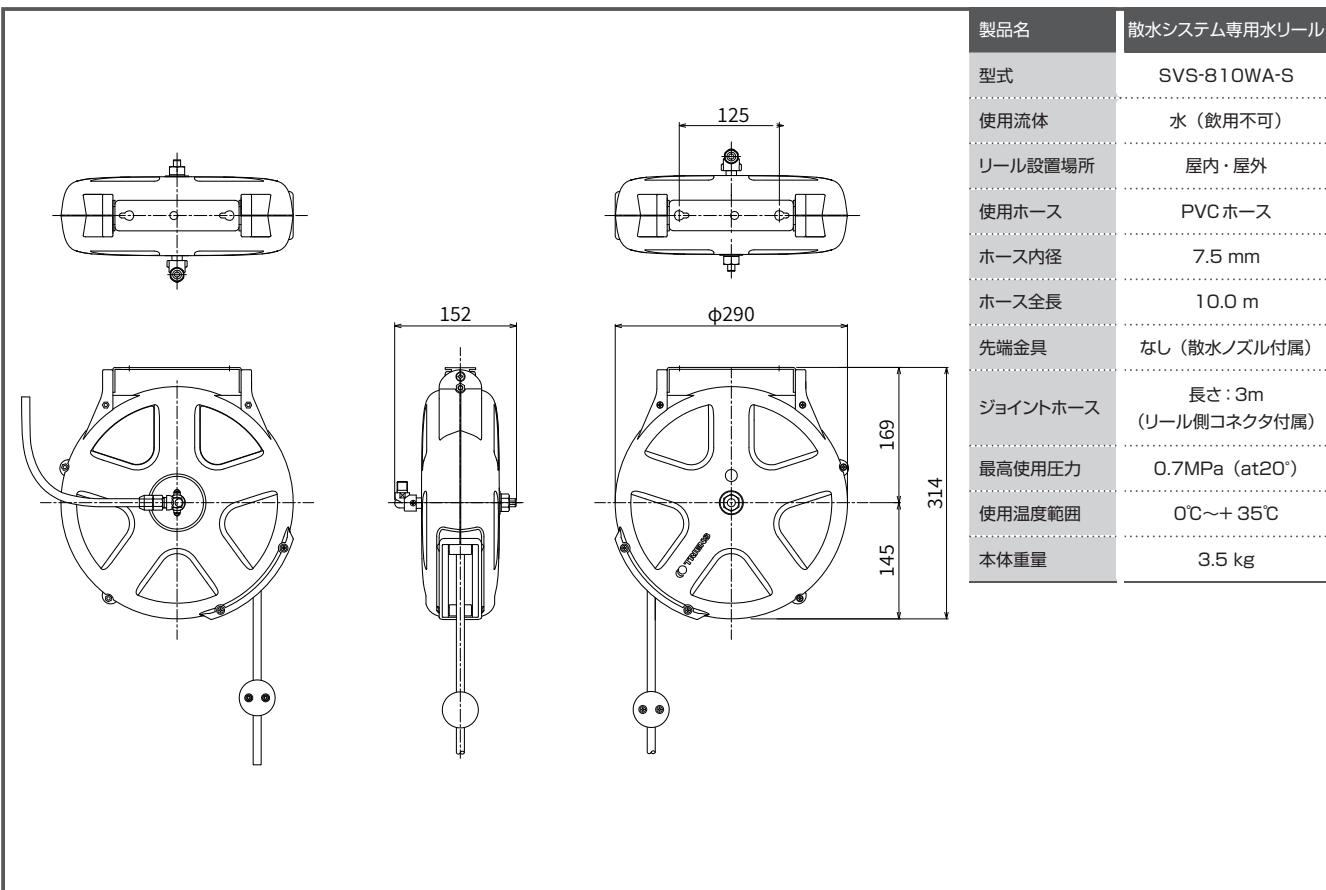
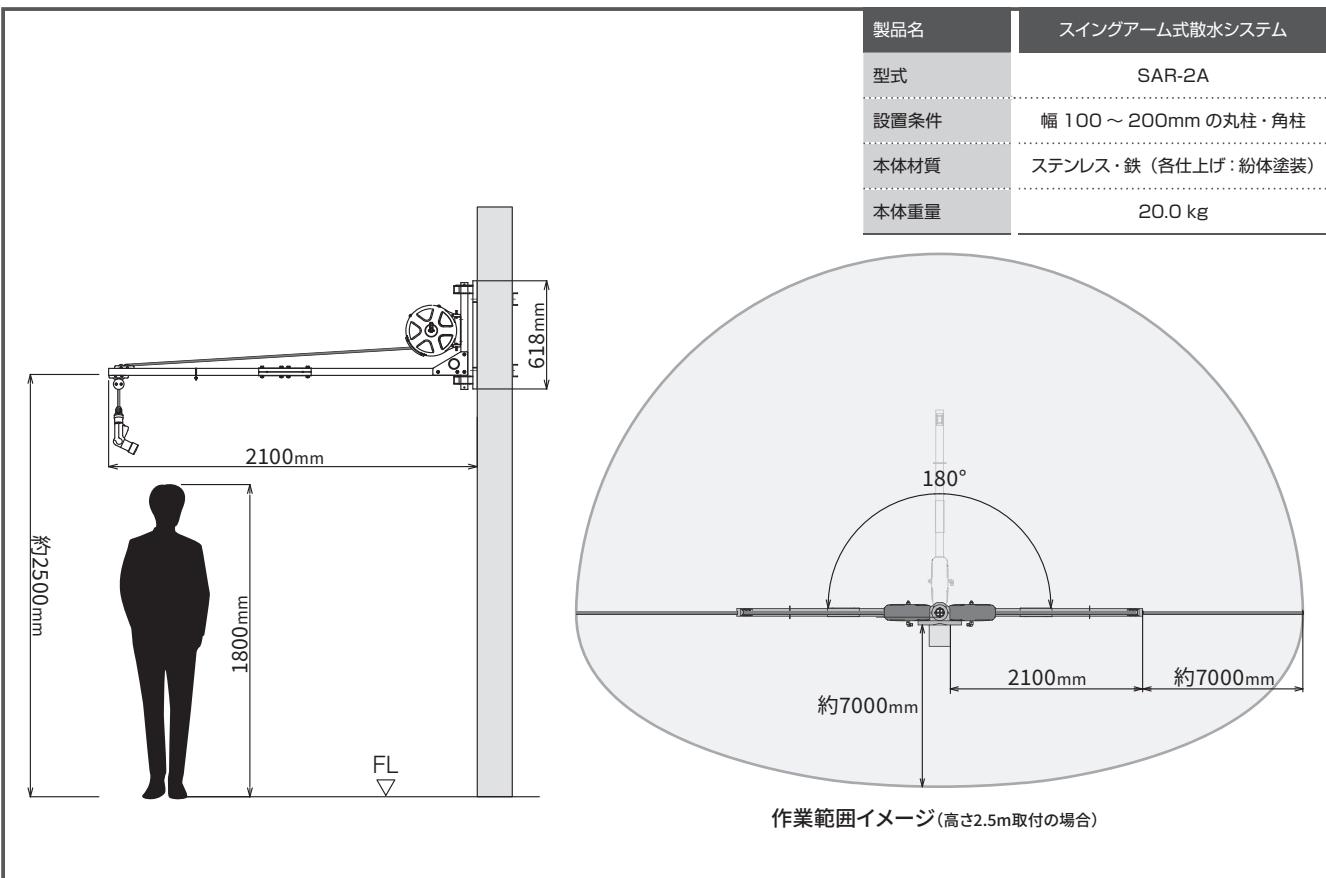
仕様・外観図

仕様・外観図

はじめに

使用する

困ったときは



保証とアフターサービス

保証規定

取扱説明書・本体警告ラベル等の注意書きに従って、正常な状態で保証期間内（納入後1年以内）に故障した場合には、弊社の責任において無償にて部品の手直し・修理・取り換え・部品交換を行わせていただきます。

ただし次の場合に該当する故障は保証しておりません。

- 使用上の誤り・保守点検・保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷
- 製品の動作機構に悪影響をおよぼす変更（改造）が加えられた場合または、それが原因で発生した故障および損傷
- 水用コネクタ・散水ノズルの故障および損傷
- 消耗部品（参照：P.12「消耗部品について」）が損傷し、取り換えを要する場合
- 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合
- 弊社または弊社の販売代理店以外の方による分解修理が行われた場合、それが原因で発生した故障および損傷
- 設置に原因がある故障および損傷（取付不良による落下、さび・腐食・水などによる故障は保証しておりません）
- 指定以外の流体を流すなど、流体の汚れや不純物の混入が原因で発生した故障および損傷
- 定格電圧・電流を超える使用や最高使用圧力を超える使用など、その他製品仕様以外のご使用が原因で発生した故障および損傷
- 火災・地震・風水害・その他天災・地変等外部に要因がある故障および損傷
- 日本国外にてご使用の場合
- 保証請求手続きが不備の場合（型式または製造番号の連絡がない場合など）
- その他、合理的な事由から弊社が保証対象外と判断した場合

上記規定に基づき、不具合が発生した場合にはお買い上げの販売代理店へご連絡ください。
なお、保証の要否は誠に勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときは

まずは取扱説明書内 P.13「故障と処置」をご覧ください。

それでも調子が悪いときは

型式・製造番号・購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売代理店にご相談ください。

保証期間中の修理について

製品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。
お買い上げの販売代理店にご相談ください。

保証期間後の修理について

有償修理いたします。
お買い上げの販売代理店にご相談ください。

アフターサービスについての詳細

その他ご不明な点は、お買い上げの販売代理店にお問い合わせください。

型式	
製造番号（SER.No）	
購入日	年 月 日
購入先	



各ソーシャルメディアより、三協リールのニュースや製品情報などを定期的に配信しております。

FB,IG,TW:@triensjapan / YouTube:trienstube

〔販売代理店または施工業者様へのお願い〕

この取扱説明書はお客様へ必ずお渡しください。

製造元

株式会社 三協リール

〒263-0002
千葉県千葉市稻毛区山王町 279-5

TEL: 043-421-5551 FAX: 043-421-5553
e-mail: info@triens.jp http://www.triens.jp

販売元